◆新たな市町村防災対策基準

(ハザードマップ作製の基準)

機関名	対象地震	対象地域	水平避難		垂直避難		【参考】 現行の対応
			市町村	県 (堤防が機能しない場合)	市町村	県 (最大浸水深)(m)	(暫定想定を基にした ソフト対策基準(m))
佐伯市	南海トラフ	佐伯市上浦	浸水域のラインよりも内陸側	「大分県津波浸水予測図(水予測ではよる)」による浸水・ファインできる。 ない、広へはできる。 ないできる。	最大浸水深以上	上浦蒲戸 海抜6m以上上浦津井 海抜8m以上	海抜9m以上
		旧佐伯市				海抜8m以上	海抜11m以上
		佐伯市鶴見				海抜7m以上	海抜8m以上
		佐伯市米水津				· 米水津浦代浦 海抜13m以上 · 米水津色利浦 海抜12m以上	海抜19m以上
		佐伯市蒲江				· 蒲江新町 海抜11m以上 · 蒲江丸市尾浦 海抜14m以上	海抜12m以上
津久見市	南海トラフ	津久見市内全域	海抜10m以上		海抜6m以上	海抜6m以上	海抜10m以上
臼杵市	南海トラフ	(海抜10m以下地域) 深江地区、上浦地区、中央地区、 南部地区、市浜地区、下南地区、 南都留地区、上北地区、下北地 区、海辺地区、下ノ江地区、佐志 生地区	海抜10m以上		海抜10m以上	・深江地区 海抜5m以上 ・ 臼杵川河口 海抜6m以上	海抜10m以上
大分市	南海トラフ 別府湾	大分市全域	海抜10m以上 ※海抜10m以上の避難場 所の確保が困難な地域については、津波の浸水想定を 勘案しながら、避難場所の 確保に努めていく。		海抜10m以上	・田ノ浦〜豊海 海抜7m以上 ・大野川 海抜8m以上 ・佐賀関港 海抜4m以上 ・佐賀関西町 海抜9m以上 ・上浦漁港 海抜6m以上	海抜10m以上
別府市	別府湾	別府市全域	海抜10m以上		海抜10m以上	海抜6m以上	海抜10m以上
日出町	南海トラフ	日出町全域	浸水域のラインよりも内陸側		海抜8m以上	海抜5m以上	海抜7. 95m以上
杵築市	南海トラフ 別府湾 周防灘	沿岸部45行政区	浸水域のラインよりも内陸側		海抜8m以上	· 熊野、奈多 海抜5m以上 · 守江、八坂川 海抜4m以上	海抜8m以上
国東市	南海トラフ 別府湾 周防灘	国東市全域	海抜10m以上 ※近くに指定避難場所がない場合は、最低6m以上		海抜6m以上	・ 安岐町 海抜6m以上 ・ それ以外 海抜4m以上	海抜10m以上
姫島村	周防灘南海トラフ	姫島村全域	海抜6m以上		海抜6m以上	・西浦漁港 海抜6m以上 ・それ以外 海抜3m以上	海抜7. 08m以上
豊後高田市	南海トラフ 周防灘	豊後高田市全域	海抜10m以上 ※近くに高台がない場合 は、最低でも6m以上		海抜4m以上	海抜4m以上	海抜10m以上 ※近くに高台がない場合は、 最低でも6m以上
宇佐市	南海トラフ 周防灘	宇佐市全域	海抜7m以上		海抜7m以上	海抜3m以上	海抜7m以上
中津市	南海トラフ	中津市全域	浸水域のラインよりも内陸側		海抜3m以上	海抜3m以上	暫定想定の2倍で海抜5. 1m 以上